

報道関係者各位

アットホーム株式会社

トレンド調査—“子育て世帯の住まい探し”実態調査—

首都圏在住、3～12歳の子を持つ親

子育て視点での住まいの満足度、持ち家が賃貸を約20ポイント上回る

子ども部屋の有無、持ち家が賃貸を45ポイント上回る

住まい選びで重視するのは、「日当たり・風通し」と「治安の良さ」

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役:松村 文衛)は、1都3県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住で、3～12歳の子どもの持つ親600名を対象に、子育て世帯の住まい探しの実態調査を実施しました。

本調査では、子育て視点での住まいの満足度について、持ち家が賃貸を約20ポイント上回っていることや、住居形態により子ども部屋の有無に大きな差があることなど、子育てと住まい選びのさまざまな関係が明らかになりました。

■ 主な調査結果

- 子育て視点での住まいの満足度、持ち家が賃貸を約20ポイント上回る
- 子育て世帯が住まい選びで重視するのは、住居1位「日当たり・風通し」、環境1位「治安が良い」
- 子ども部屋の有無、持ち家が76.0%に対し、賃貸は31.0%と45ポイントの差が
- 子育てにあたって、「実家の近くに住めば良かったと思ったことがある」45.9%

■ 調査概要 (クローズド調査)

◆対象/1都3県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住、3～12歳の子を持つ親600名。(男女各300名)

◇性別、住居形態

		持ち家	賃貸
全体	600名	300名	300名
男性	300名	150名	150名
女性	300名	150名	150名

◇居住地

東京都	35.8%
神奈川県	29.3%
埼玉県	21.7%
千葉県	13.2%

◇住居形態の内訳

持ち家 (50.0%)		賃貸 (50.0%)	
一戸建て	31.8%	一戸建て	6.0%
マンション	18.2%	マンション	30.0%
		アパート	14.0%

◆調査方法/インターネットリサーチ

◆調査期間/2012年6月1日(金)～6月3日(日)

～調査結果～

◆子育てを考慮して住まい選びをした人 56.3%。 持ち家が賃貸を 14 ポイント上回る。

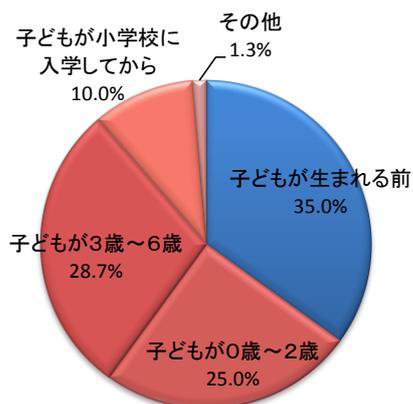
Q.子育てを考慮して住まいを選びましたか？(対象:600名)



現在の住まいは子育てを考慮して選んだか聞いたところ、56.3%の人が「はい」と回答。中でも、持ち家は 63.3% で賃貸を 14 ポイント上回り、意識の高さがうかがえます。

◆引越しのタイミングは、「子どもが生まれてから」が 6 割超。

Q.現在の住まいに引越した時期は？(対象:600名)



現在の住まいに引越した時期を聞いたところ、「子どもが生まれる前」と回答した人の割合は 35.0%、「子どもが生まれた後」との回答は合計で 65.0%でした。

子どもが生まれてから住み替えのアクションを起こす親が多いことが分かります。

◆子育て視点での住まいの満足度、74.2%が「満足」と回答。 住居形態別では、持ち家が賃貸を約20ポイント上回る。

Q.子育ての視点では、現在の住まいの満足度はどのくらいですか？(対象:600名)



子育ての視点での住まいの満足度は、「大変満足」と「やや満足」を合わせると74.2%に。持ち家と賃貸を比較したところ、19.7ポイントも持ち家の満足度が高い結果になりました。

また、それぞれ理由を聞いてみると、「満足している理由」としては、「周辺環境や住まいの部屋数、構造などさまざまなことを吟味した」といった、子育てを考慮して多くの点に気を配った様子がうかがえました。一方、「満足していない理由」としては、「車の交通量が多い上に歩道が整備されていないので、子どもが危ない」、「治安が悪い」など周辺環境のマイナス面が大きく関わっていることが分かりました。また、「満足していない」と回答した人の2割が「教育上の理由で引越しを考えたことがある」とも回答。子育ての観点で住まいの満足度を高めるには、周辺の教育施設も重要なポイントといえそうです。

◆子育てを考慮して、「今後住み替えを予定している」3割が回答。

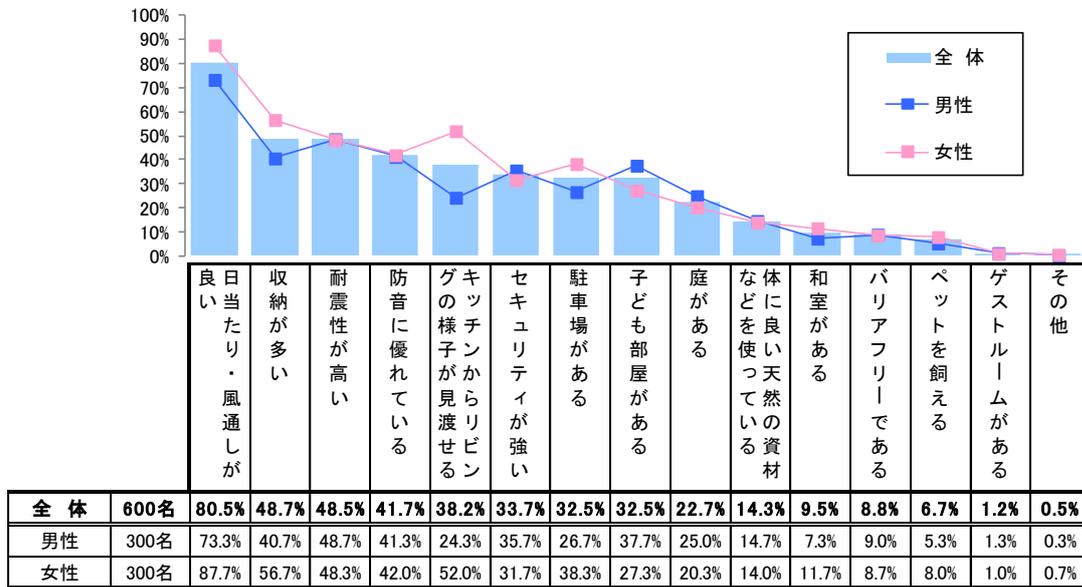
Q.子育てを考慮して、今後住み替える予定はありますか？(対象:600名)



「子育てを考慮して、今後住み替える予定があるか」を聞いてみたところ、3割以上の人が「はい」と回答。中でも賃貸居住者の半数以上が「住み替えの予定がある」と回答しています。

◆子育てを考慮して住まい選びをする際、重要だと思う住居の条件 1位はダントツで「日当たり・風通しが良い」。

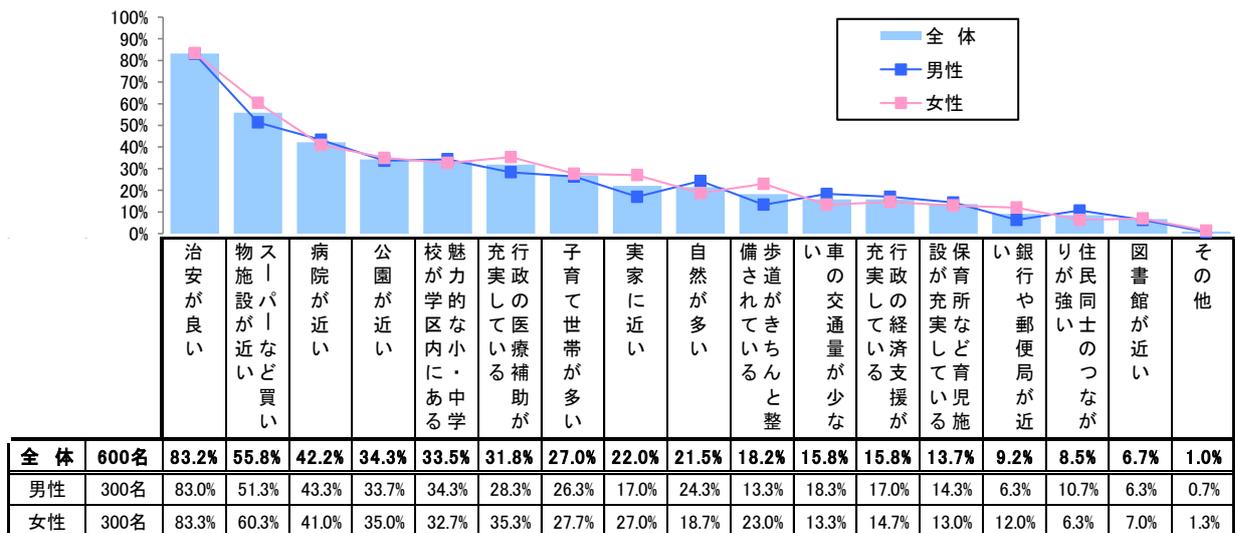
Q.子育てを考慮して住まい選びをする際、重要だと思う住居の条件は？（5つまで選択可 対象:600名）



子育てを考慮して住まい選びをする際、重要だと思う条件を聞いたところ、「日当たり・風通しが良い」がダントツの1位でした。次いで「収納が多い」、「耐震性が高い」と続いています。男女別に見ると、「キッチンからリビングの様子が見渡せる」の項目で女性の回答率が男性の2倍以上に。炊事をしながらでも子どもの様子がうかがえるというのは、女性にとって安心できる大きなポイントなのかもしれません。

◆子育てを考慮して住まい選びをする際、重視する環境 1位「治安」。

Q.子育てを考慮して住まい選びをする際、重視する住環境は？（5つまで選択可 対象:600名）



子育てを考慮して住まい選びをする際、重視する住環境は、男女ともに「治安が良い」がダントツの1位でした。次いで、「スーパーなど買い物施設が近い」、「病院が近い」と続いています。ただし、6位以降は男女で回答率に差が生じ、意識の相違が見られました。

◆「子ども部屋がある」持ち家は76.0%に対し、賃貸は31.0%。

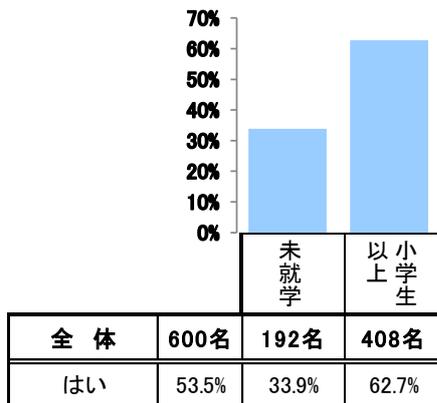
Q.子ども部屋はありますか？(対象:600名)



「子育てを考えると重要だと思う住居の条件」において7位にランクインしている、「子ども部屋」。実際に、子ども部屋を持つ家庭は、53.5%という結果に。しかし、住居形態別に見ると、持ち家は76.0%に上るのに対し、賃貸は31.0%に留まり、45ポイントもの大きな差が生じました。

◇ 就学が子ども部屋を設けるタイミング？

Q.子ども部屋はありますか？(対象:600名)



子どもが「就学しているか」と「子ども部屋の有無」の関係性を調べたところ、未就学の子どもの「子ども部屋がある割合」が、約3割に対し、就学している子どもは、6割以上という結果に。

「就学」が子ども部屋を設ける一つのきっかけになっているようです。

◆子育ての観点から、今の住まい(住居・環境)に“あと一つあったらうれしい”もの、1位「公園」、2位「部屋」、3位「庭」

Q.子育てをするにあたり、今の住まいに“あと一つあったらうれしい”と思うものは何ですか？

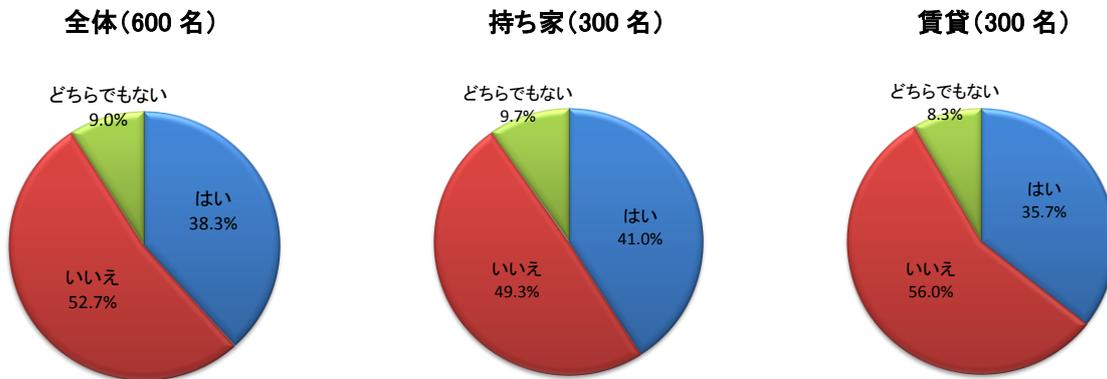
(対象:600名 フリーアンサー)

順位	あと一つあったらうれしい住まいの条件や周辺環境
1	公園が近い
2	あと一つ部屋がある
3	庭がある
4	スーパーが近い
	駅が近い
5	学校が近い

子育ての観点で、今の住まいに“あと一つあったらうれしい”と思う住居の条件や周辺環境を聞いたところ、「公園」が1位。「公園」と3位「庭」の回答の中には、「子どもが遊べる広い公園」、「遊具の置ける庭」など、子どもがのびのび遊べる環境を求める回答が目立ちました。2位の「部屋」では「子ども部屋がほしい」「収納スペースが足りなくなってきた」など、子どもの成長につれて「あと一部屋」の必要性を実感している様子。また、5位の「学校」は「私立の小学校」や、「評判の良い学校」という回答が多く見られ、教育への関心の高さがうかがえる結果となりました。

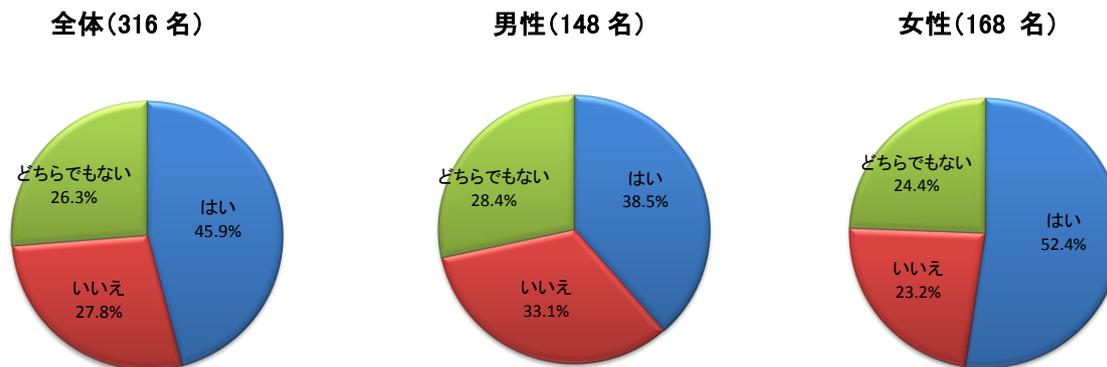
◆「実家の近くに住めば良かったと思ったことがある」45.9%。

Q.現在、実家の近くに住んでいますか？(対象:600名)



●現在、実家の近くに住んでいないと回答した316名へ聞きました

Q.子育てにあたって、実家の近くに住めば良かったと思ったことがありますか？(対象:316名)



現在、実家の近くに住んでいない人で、「実家の近くに住めば良かったと思ったことがある」と回答した人は45.9%と半数近くに上りました。男女別に見ると、女性の方が13.9ポイントも高い結果に。育児や家事で忙しい日々で、「近くに助けてくれる親がいてくれたら…」と考えることがあるのかもしれない。

また、子どもの人数別に見ると、「2人以上」で「実家の近くに住めば良かったと思ったことがある」と回答した人は53.1%と過半数を超えました。子どもが多い親ほど「実家に助けてもらいたい」と切実に思っているようです。

